

小・中学校における 租税教育指導事例集

平成 29 年 3 月

登米市租税教育推進協議会

発刊に寄せて

今年度も登米市租税教育推進協議会並びに租税教育推進協力者の皆様のご尽力により、ここに「小・中学校における租税教育指導事例集」が刊行されますことをたいへん喜ばしく思います。

「租税教育の目的は、租税教育を通じて租税に関する意義や役割、機能、仕組み等の租税制度を知ること、申告納税制度の理念や納税者の権利及び義務を理解し、社会の構成員としての正しい判断力と健全な納税者意識を育むことにある」と国税庁の資料に記されております。

国民が豊かで安全に暮らすためにはいろいろな公共施設や公共サービスが必要です。そのためには国や地方公共団体に多くのお金が必要となります。

教科書の無償給付など義務教育を維持・継続し、すべての子供たちが全国どこに生活していても一定水準の教育を受けられるのも国民が納税の義務を果たしているからこそ成り立つものです。

こうした意義や仕組みなどを小・中学生のころから学ぶことは、未来の社会づくりにかかわることでもあります。

この実践事例集には、登米市内の小学校6校、中学校2校の実践事例が掲載されています。

小学生は税の基本的な理解を中心に、中学生は社会の一員としての自覚を深める内容となっています。

それぞれの発達段階に即した単元計画の中で、各種の工夫を凝らして取り組んでおり、その結果、実践校からは児童生徒の税に関する関心の高まりや理解が深まったことなどの成果が報告されております。

どうかこの成果が、他の学校にも活用されるとともに児童生徒と指導に当たる教員の意識の高揚につながり、租税教育の充実と未来に生きる健全な社会人が育成されることを切に願うものです。

結びに、これまで租税教育に積極的に取り組んだ実践校とそれを推進してこられた関係各位に改めて感謝と御礼を申し上げ、発刊に寄せてのあいさつといたします。

平成29年3月

登米市租税教育推進協議会会長
登米市教育委員会教育長

佐藤信男

目 次

小学校指導事例

① 第6学年	北方小学校	教諭	佐藤 純	1
② 第6学年	米川小学校	教諭	佐藤 理英	5
③ 第6学年	上沼小学校	教諭	佐藤 秀明	9
④ 第6学年	中津山小学校	教諭	鈴木 周一	12
⑤ 第6学年	南方小学校	教諭	佐藤 ゆかり	16
⑥ 教務主任	横山小学校	教諭	浅野 克樹	20

中学校指導事例

① 社会科	東和中学校	講師	林 佳舗	23
② 教務主任	南方中学校	教諭	鈴木 一郎	26

平成28年度	租税教育推進協力者	28
--------	-----------	-------	----

平成28年度	登米市租税教育推進協議会	構成員名簿	29
--------	--------------	-------	-------	----

歴代租税教育推進協力者	30
-------------	-------	----

平成 28 年度 租税教育実践例（第 6 学年社会科）

登米市立北方小学校
教諭 佐藤 純

- 1 単元名 わたしたちの生活と政治
小単元名 震災復興の願いを実現する政治

2 単元について

本単元は、学習指導要領の目標「1（2）日常生活における政治の働きと我が国の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする」の内容を扱う。

この単元での主な学習内容は、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを具体的に考えるようにすることである。

単元の構成は大きく三つに分かれており、始めに国民（市民）の願いを実現するための政治の仕組みについて学習し、次に国の政治の働きについて、最後に日本国憲法の基本的な考え方について学んでいく。この学習の中で、震災復興の願いを実現するために税金が果たす大きな役割について知るとともに、税の種類についても学んでいく。

3 児童の実態（在籍 36 名）

本単元を指導するにあたり、簡単な実態調査を行った。その結果、児童全員が「税金」という言葉を聞いたことがあった。また、「知っている税は何か」を尋ねると、「消費税」と答えた児童が最も多かった。さらに、「税金は何に使われているか」を尋ねたところ、ほとんどの児童が「分からない」と答えたが、一部の児童は「学校に関することに使われていると聞いたことがある」「道路を整備するために使われている」と答えた。「税金は必要か」という問いに対して、「必要である」と答えた児童はおよそ半数となり、あとの半数は「必要ない」と答えた。

「税金」という言葉の認知度は高いが、その意味や仕組み、使途については知らない児童が多く、税金が果たす役割について具体的に考えさせていく必要があると考える。

4 指導の着眼

以上のような実態を踏まえて、次のような点に留意して指導にあたりたい。

- ① これまでに学習した「租・調・庸」、「年貢」、「地租」などの語句をおさえさせる。
- ② 国民の義務として、納税の義務があることを学び、その必要性についておさえさせる。
- ③ 税務署の職員をゲストティーチャーとして招き、税金の意味や仕組み、使途について理解させる。

5 単元の目標

- ・ 地方公共団体や国の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解するとともに、我が国の政治の働きと国民生活との関わりを考えようとする。

6 指導計画 (8時間扱い 本時4/8)


時	学習内容	指導上の留意点
1	○東日本大震災の発生 ・東日本大震災発生後の復旧の様子に関心を持ち、学習問題をつくる。	・震災に関する学習に抵抗がある児童がいないか、事前に確認する。写真資料をもとに、被災者の気持ちに気付かせる。
2	○東日本大震災への緊急対応 ・東日本大震災発生直後の、市や県、国の取り組みについて資料から読み取り、相互に協力し合っていることについて考える。	・震災の発生から市や県、国が対応するまでの時間が非常に短かったことや派遣された人員の多さから、国全体が協力する体制を整えていることをとらえさせる。
3	○災害復旧に向けた国の支援 ・災害復旧の取り組みは、国の政治の働きによるものであることを理解する。	・震災発生から短期間で予算や法律が決まったことや、県や市町村と国が連携して取り組んでいることが、図や年表と結びつけて考えられるようにする。
4 本時	○税金の働きを調べる ・災害復旧のための補正予算の費用が税金から出ていることを知り、税金の大切さについて考える。	・税金がどのような用途に使われているのかを知るとともに、税金の必要性について考えさせる。
5	○復興を願う市や市民の取り組み ・復興に向けての気仙沼市の計画や取り組みについて、関心をもって調べる。	・気仙沼市の被害の状況から震災前の生活に戻るために何が必要か気付かせる。
6	○さまざまな支援と絆 ・復興に向けたさまざまな取り組みのなかで、多くの支援があったことを理解する。	・被災地を励まそうと多くのスポーツ選手や芸能人が被災地を訪れ、イベントを行ったことを紹介する。
7	○学習問題のまとめ新聞 ・学習問題について調べてきたことを、項目ごとに整理して新聞に貼り、社説に自分の考えを書いて完成させる。	・これまで学習してきたことをノートをもとに振り返らせ、それらを参考にして考えられるよう支援する。
8	○町づくりにわたしたちの声をいかそう ・公園に対するいろいろな立場の人の願いを考え、それらの意見を尊重しながらどのような公園をつくったらよいか話し合い、自分の意見をまとめる。	・知っている公園を思い起こして、好きなところやこうしたら良いという思いを聞き出す。いろいろな立場の人がいることや、それぞれの立場の人の願いを板書や図などで分かりやすく示して、地域の人々の思いに共感できるようにする。

7 本時の学習

(1) 指導について

題材名	税金の働きを調べる
本時の目標	税金の働きを知ることにより、税金の必要性や大切さを理解する。
評価規準	・税金の働きについて正しく理解している。 【知識・理解】 ・税金の必要性や大切さを理解している。 【知識・理解】

(2) 学習過程

段階	学 習 活 動 ・ 児童の反応	○ 指導上の留意点	準備物
つかむ 5分	1 本時の学習課題を知る。 <u>税金の働きを調べよう。</u> 2 ゲストティーチャーを紹介する。	○税金の働きや、税金が自分たちの生活とどのように関連しているかについて学ぶことを知らせる。 ○佐沼税務署の職員の方を紹介する。	
考える 35分	3 ゲストティーチャーの話を聞き、税金について考える。 (1) 知っている税金を挙げる。 ・消費税 ・所得税 ・ガソリン税 …など (2) 国税と地方税について知る。 (3) 税収の金額を知る。 ・57兆円ある。 (4) 1億円の量と重さを体感する。 ・とても重たい。 ・とても大きな金額だ。 (5) 税金が使われている施設を考える。 ・学校 ・市役所 ・公園 ・パトカー ・ファミレス ・ホームセンター ・消防署 …など (6) 鑑賞教材「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を鑑賞する。 ・税金って大切なんだ。 ・税金がないと困る。 ・いろんなところに税金が使われている。	○税金の種類（国税・地方税）があることをつかませる。  ○税金がない世界になるとどうなるかを知らせる。	大型TV 1億円のレプリカ DVD教材
まとめる 5分	4 学習したことをまとめる (1) 税金を払うべきか、払わなくてもよいかを確認する。 (2) 本時で学んだことをまとめる。 ・税金の大切さがわかった。	○本時を振り返らせることにより、税金の役割や大切さについてまとめる。	

8 実践を終えて

- ゲストティーチャーを招いての授業は、児童の興味・関心を高める要因となった。また、専門的な話を分かりやすく解説していただいたことで、税金に関するさまざまな知識に触れることができた。
- DVD教材は、もしも税金がなかった場合どうなるかが分かりやすく作られており、児童は真剣に見入っていた。また、税金の大切さを、実生活と結びつけて考えることができた。
- 震災復興にかかる多額の費用が税金で賄われているということが明確になり、税金の大切さについて考えることができた。
- 税金の大切さを知るとともに、自分たちも『税金』という形で国政に参画しようとする意識が高まったものと考えられる。

平成28年度 租税教育実践例（第6学年社会科）

登米市立米川小学校
教諭 佐藤 理英

1 単元名 わたしたちの生活と政治

2 単元について

本単元は学習指導要領の目標「(2) 日常生活における政治の働きとわが国の政治の考え方及びわが国と関係の深い国の生活や国際社会におけるわが国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。」の内容について学習する単元である。

学習内容は、わたしたち国民の生活には地方公共団体や国が行う政治の働きが反映されていることについて資料を活用したり、身近な生活の中から調べたりする中で、政治が国民生活を安定させている仕組みや暮らしを支えるために大切な働きをしているということをとらえさせ、理解を深めることである。

単元は前半の「地方公共団体や国の政治の働き」と後半の「日本国憲法の基本的な考え方」の2つで構成されており、その中で税金の果たす役割について知り、その種類などについても学んでいく。

3 児童の実態（男4名 女8名 計12名）

ほとんどの児童が税金という言葉を知っており、どんな税があるかについて尋ねても、消費税だけでなく、所得税やガソリン税など数種類出てきた。ちょうど今夏に中国へヶ月行って来た児童がおり、外国の税金について話を聞いていたばかりだったので、税についての関心は高い。

税金の使途については、「みんなの暮らしのため」「国会議員さんの給料」など、税の仕組みや使い道については良く分からない様子だった。そこで、自分たちの暮らしのために、税金が必要だということを深く理解させ、税金について正しい知識を身に付けさせたい。

4 指導の着眼

児童の実態を踏まえて、次の点に留意して指導にあたる。

- ① これまでに学んだ日本の歴史の中で「租、庸、調」「年貢」「地租」などの税が古くからあったことを想起させ、税への関心を高め、理解をより深める。
- ② 国民の義務として、納税の義務があるということを学び、税の必要性を押さえる。
- ③ ゲストティーチャーとして税務署の方を迎えて、税金について詳しい話を聞き、その意味や仕組み、使い道などを理解させる。

5 単元目標

地方公共団体や国の政治の働きに興味をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解するとともに、我が国の政治の働きと国民生活との関わりを考えようとする。

6 指導計画（9時間扱い 本時4／9）

時	おもな学習活動	指導上の留意点
1	○子育て支援センターの見学 ・子育て支援センターを見学し、利用者にインタビューして、幼い子どもをもつ親の願いについて話し合う。	・子育て支援センターでやっている活動の様子やアンケートの結果から、利用者の願いについて考えさせる。
2	○ソーレの活動 ・子育て支援センターを見学したり、所長さんの話を聞いたりして、どんな目的で、どんな活動が行われているのかを調べる。	・子育て支援センターで行われている、様々な活動の目的について考えさせる。
3	○住みよいまちを目指して ・市役所や市議会を見学したり、市役所の人話を聞いたりして、市役所や市議会の働きについて調べる。	・子育て支援センターの活動が始められた経過について、市役所や市議会の働きと関連付けて調べる。
4 本 時	○税金の働きを調べる ・子育て支援センターを建設したり、運営したりする費用や学校の校庭の整備や耐震工事などの費用がどこから出ているかを考える。	・子育て支援センターにかかる費用をもとに、税金が重要な役割を果たしていることについて気付かせる。 ・税務署の方をゲストティーチャーに迎えて税金の役割の重要性をとらえさせる。
5	○国の政治1－国会の働き ・国会や選挙に関する資料を収集して調べ、国会の仕組みや働き、選挙の役割について、分かったことや考えたことを話し合う。	・国会の働きや選挙の役割について、国民の願いとの関係で調べさせる。
6	○国の政治2－内閣の働き ・内閣に関する資料を収集して調べ、内閣の仕組みや働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。	・内閣の仕組みや働きについて、国民の願いとの関係で調べさせる。
7	○国の政治3－裁判所の働き ・裁判所に関する資料を収集して調べ、裁判所の働きについて、わかったことや考えたことを話し合う。	・裁判所の働きについて、国民の権利との関係で調べさせる。

8	○登米市のいろいろを調べてみよう ・登米市で行われている、様々な福祉事業について、収集した資料を基に調べる。	・登米市の福祉事業について、グループや個人で調べさせる。
9	○街づくりにわたしたちの声を生かそう ・学習したことをもとに、みんなの願いを生かした公園をつくるために、どのようなことに配慮したらよいかを話し合う。 ○国民の祝日について考えよう ・国会で作った法律によって定められた国民の祝日について、話し合う。	・子どもやお年寄りなど、いろいろな人が公園に対してどのような願いをもっているかを考えさせる。 ・それぞれの祝日について、設けられた意義について考えさせる。

7 本時の学習

(1) 小単元名 「私たちの願いを実現させる政治—税金の働きを調べる—」


(2) 本時のねらい



税金の働きを知ることで、税金がわたしたちの生活のための大切な役割を果たしていることに気づき、税金の必要性や大切さを理解する。

(3) 準備物

・学習資料「わたしたちの暮らしと税金」 ・PC ・大型テレビ

(4) 学習過程

段階	●学習活動 Gゲストティーチャー ・児童の反応	○指導上の留意点 ◇評価
つかむ 5分	● 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">税金の働きについて考えよう。</div>	○税金の働きや仕組みについて知り、自分たちの生活とどう関わっているかについて学ぶことを知らせる。
考える 35分	● ゲストティーチャーの話を聞き、税金について考える。 ● 知っている税金を挙げる。 G：皆さんの知っている税金には何がありますか？ ・消費税 ・自動車税 ・ガソリン税 ・所得税 G：日本の消費税は8%になりましたが、高いですか？ ・高い ● 世界の消費税を知る。 G：世界の国の消費税は日本と比べてどうか見てみましょう。	○税金には種類（国税と地方税や直接税と間接税など）があることをつかませる。  <p style="text-align: center;">【税金の種類について知る】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 20%以上の国が多い。 ・ 日本はまだ安いほうだ。 ・ ヨーロッパが高い。 <p>●税金を払う必要があるかどうか発表する</p> <p>G：税金は払う必要がありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 払う必要がある・・・・・・・・ 8人 ・ 払わなくていい・・・・・・・・ 2人 ・ どちらともいえない・・・・・・・・ 2人 <p>●鑑賞教材「マリンとヤマトの不思議な日曜日」を鑑賞する。</p> <p>G：ビデオを見てどうでしたか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税金がないと大変。 ・ いろんなところに使われていることが分かった。 <p>●学校と税金の関係を考える。</p> <p>G：学校にもたくさんの税金が使われています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 机やいすも税金で買ってもらっている。 ・ 7万円もかかるの。 <p>●1億円のレプリカを持ち、量や重さを体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重いなあ。 ・ 持てないなあ。 	 <p>【税金を払う必要があるか】</p> <p>○税金がないとどうなるかを知らせる。</p>  <p>【1億円の重さと量を体感】</p>
<p>ま と め る 5 分</p>	<p>●税金を払う必要があるかどうか再度確認する。</p> <p>G：税金は払う必要がありますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 払う必要がある・・・・・・・・ 12人 <p>●感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税金がないと、学校や道路や信号がなくなって大変なことが分かった。 ・ 税金が自分たちの暮らしに役立っていることが分かった。 	<p>○導入部と同じ発問を行い、税金の役割や大切さに対する自分の認識の変化をとらえさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇税金の必要性や大切さを知り、納税の義務について考えることができたか。</p> </div>

8 児童の感想

- ・ 税金がないと、学校に来るのに月7万円もかかることを知ってびっくりした。税金は大切なのだと思った。
- ・ 1億円があんなに重いとは思わなかった。お金の大切さがよく分かった。
- ・ 税金を払わないと道路が壊れても修理できなかつたり、信号が動かなくなつたりして生活が大変になるのだと思った。税金は暮らしのためには必要なのだということが分かった。

平成28年度 租税教育実践例（第6学年）

登米市立上沼小学校
教諭 佐藤 秀明

- 1 単元名「わたしたちの生活と政治」
小単元名「子育て支援の願いを実現する政治」

2 指導にあたって

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容(2)を扱う。ここでの主な学習内容は、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など、国家や国民生活の基本を定めていることを調査したり資料を活用したりして調べ、我が国の政治の働きを具体的に考えるようにすることである。

(2) 児童の実態（男子20名、女子13名、計33名）

税金については、社会科の学習で昔の税金について学んだり、普段の買い物でも消費税を支払ったりと児童にとって身近なものとなっている。しかし、税金の意味やその役割についてはほとんど理解してはいない。税金が、「何の目的で集められ」、「どういう目的で、どのように使われているか」ということに関しての理解は不十分である。

(3) 指導の着眼

- 児童にとって身近な公共施設の建設、地域の開発、災害復旧の取り組みなどの事例を取り上げ、この事業が住民の願いを実現する目的で行われていることを具体的に調べ、考えることが出来るようにさせる。
- 税務署の方をゲストティーチャーとして招き「租税教室」を実施することで学習の理解をさらに深める。
- ICT（ビデオ視聴等）を効果的に活用し、児童の税金に対する興味関心を高めながら、納税の義務の意識を高めていく。

3 単元の目標

- 地方公共団体の政治の働きに関心をもち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることがわかるとともに、我が国の政治の働きと国民生活とのかかわりと考えようとする。
- 地方公共団体の政治の働きに関する社会的事象から学習問題を見出し、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて思考・判断したことを適切に表現する。

4 学習計画（8時間）

主な学習活動	指導上の留意点
① 児童センターの見学 ○センターのを見学し、利用者にインタビューして、わかったことを発表する。	☆インタビューカードを事前に準備させ、見学の際に活用できるようにする。
② みんなの願いと児童センター ○子ども支援施設について調べ、わかったことや疑問に思うことについて話し合い、学習問題を作る。	☆住民の役に立つ施設が、なぜ無料で利用できるのかという疑問を引き出し、学習問題につなげていく。
③ あすばるの活動 ○写真資料やあすばる所長の話を読み取り、どのような活動をしているのかを調べる。	☆子ども支援施設を利用したことがある児童には、経験した活動を想起させる。
④ 市役所の働き ○市役所を見学したり、市役所の話の話を聞いたりして、市役所の働きについて調べる。	☆「まなび方コーナー」を活用し、取材の仕方を事前指導しておく。
⑤ 市議会の働き ○集めた資料を活用して、市議会の仕事について調べる。	☆「市の政治のしくみ」の資料を読み取り、市民、市役所、市議会、国会や関係省庁の関係を捉えさせる。
⑥ 税金の働き【本時】 ○子育て支援センターを建設、運営するための費用がどこから出ているのかを調べる。	☆調べる前に、建設費や運営費としてどのくらい金額がかかっているのか予想させ、その費用はどこから出ているのかを調べる意欲を高める。
⑦ 税金についてさらにくわしく知ろう ○税務署からゲストティーチャーを招いて、税金についての詳しい話を聞いたり、質問したりする。	☆ゲストティーチャーには積極的に疑問点や不思議に思ったことなどを質問させるようにする。
⑧ まとめる ○学習問題について調べたことをフローチャートに整理し、学習問題を解決する。	☆フローチャート図をもとに、学習問題を解決する。

5 本時の学習

(1) 題材名 「税金の働き」 6 / 8 時間

(2) 本時のねらい

- 市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、資料を活用して、必要な情報を集めて読み取る。

(3) 学習の流れ

<p>・学習活動と予想される児童の反応</p>	<p>形態</p>	<p>○指導上の留意点</p>
<p>1 子育て支援センターを建設, 運営するための費用がどこから出ているのかを調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>子育て支援のための費用は, どこから出るのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・あすばるの建設に, 1億4000万円かかっている。 ・運営には, 年間2000万円かかっている。 ・市は住民や会社から集めた税金や国からの補助金を使って事業を行っている。 	<p>一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○調べる前に, 建設費や運営費としてどのくらいの金額がかかっているのか予想させ, その費用はどこから出ているのかを調べる意欲を高める。 ○運営費が約2000万円なのに対して, 利用する人からはほとんどお金が払われないことを捉えさせる。 ○運営費になるお金のもとがどこにあるのかを資料から読み取らせる。
<p>2 税金の集められ方と使われ方について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物を買ったときに税金がかかる。 ・市区町村に住んでいる人, 土地や建物を持っている人から集めている。 ・警察や消防, 道路や橋の建設に使われている。 	<p>一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちも知らない間に納税を体験していることに気付かせ, 税金をより身近なものとして捉えられるようにする。 ○消防や警察, ごみの処理の仕事など3・4年生の学習と関連付けて税金の使われ方を具体的に考えさせる。
<p>3 税金がなかったらどうなるのかを考え, 税金の役割について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事になっても消防自動車が来れなくて, 火が消せない。 ・ごみを回収する人がいなくなり, 町にごみがあふれてしまう。 	<p>ペア グループ 一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○はじめペアで, 次にグループで話し合わせ, 最後に全体での発表につなげる。

(4) 評価

- 市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて, 資料を活用して, 必要な情報を集めて読み取ることができたか。

租税教育実践事例(第6学年)

登米市立中津山小学校 教諭 鈴木 周一

1 はじめに

学級の児童にアンケートを行ったところ、社会科が好きだと答える児童は多かった。しかし、それは歴史の勉強が好きだということで、公共や政治について興味をもっている児童は多くなかった。

中津山公民館の利用については、クラブ活動、地区子供会行事、スポーツ少年団活動、公民館主催行事(ちびっこ大学等)図書室利用など、ほとんどの児童が利用したことがあり、身近な施設とすることができる。しかし、利用している部屋は限られており、音楽室や視聴覚室があることを知らない児童が半数ほどいた。

税金については、半数以上の児童が消費税を知っていた。少数ではあるが「所得税」や「固定資産税」という言葉を知っている児童もいて、ニュースで「増税」の話聞いたという児童も数人いた。ニュースでも税の話が多く流れていたため、思ったよりも関心はあるようである。

小学生の子どもたちに税金について指導するのはなかなか難しい。税金にどのような種類があり、どのような使われ方をしているのかまで調べるのは大変な作業である。本年度は6年「わたしたちの願いを実現する政治」の中で租税教室を計画的に取り入れ、実践した。子どもたちの学習に効果的な租税教室を実施し、それを含めた学習計画を立案することによって、児童にとってかならずしも身近には感じられない税金の働きや公共事業と自分たちの生活との関連等も学習することができると考えた。

2 実践例

1) 小単元名

わたしたちの願いを実現する政治

2) 小単元の目標

- ① 地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち、国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを理解する。
- ② 地方公共団体や国の政治の働きに関する社会的事象から学習問題を見だし、公共施設を見学したり各種資料を活用したりして調べたことをまとめるとともに、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考え、適切に表現する。

3) 評価規準

- 社会的事象への関心・意欲・態度
子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きに関心を持ち、進んで調べようとしている。
- 社会的な思考・判断・表現
子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きについて、学習問題や予想、学習計画を考え表現するとともに、地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることについて考え、適切に表現している。
- 観察・資料活用の技能
子育て支援事業など、地方公共団体や国の政治の働きについて、子育て支援施設や市議会などを見学したり、各種資料を活用したりして、必要な情報を集めて読み取り、レポートや作品などにまとめている。
- 社会的事象についての知識・理解
地方公共団体や国の政治の基本的な考え方やしくみ、子育て支援などの事業を実現するために地方公共団体が市民の願いを取り入れながら国と協力していること、これらの事業を進め国民生活の安定と向上を図るために政治が大切な働きをしていることを理解している。

4) 指導計画 (本時4/10)

	○おもな学習活動・内容	指導上の留意点
つかむ	①子育て支援センターの見学 ○子育て支援センターを見学し、利用者にインタビューして、幼 い子どもをもつ親の願いについて話し合う。(1時間)	○子育て支援センターでやっている活 動の様子やアンケートの結果から、利 用者の願いについて考えさせる。
調べる	②ソーレの活動 ○子育て支援センターを見学したり、所長さんの話を聞いたりし て、どんな目的で、どんな活動が行われているのかを調べる。 (1時間)	○子育て支援センターで行われてい る、様々な活動の目的について考え させる。
	③住みよいまちを目指して ○市役所や市議会を見学したり、市役所の人の話を聞いたりし て、市役所や市議会の働きについて調べる。(1時間)	○子育て支援センターの活動が始めら れた経過について、市役所や市議会 の働きと関連づけて調べさせる。
	④税金の働きを調べる(本時) ○子育て支援センターを建設したり、運営したりするための費用 がどこから出ているのか、収集した資料をもとに調べる。 (1時間)	○子育て支援センターにかかる費用を もとに、税金が重要な役割を果たし ていることについて気づかせる。
	⑤税金の種類や税金の使われ方について知る。(租税教室) (1時間)	○税金の種類や使われ方について 理解するとともに税金の大切さに気 付くことができるようにする。
	⑥国の政治1-国会の働き ○国会や選挙に関する資料を収集して調べ、国会のしくみや働 き、選挙の役割について、わかったことや考えたことを話し合 う。(1時間)	○国会の働きや選挙の役割について、 国民の願いとの関係で調べさせる。
	⑦国の政治2-内閣の働き ○内閣に関する資料を収集して調べ、内閣のしくみや働きにつ いて、わかったことや考えたことを話し合う。(1時間)	○内閣のしくみや働きについて、国民 の願いとの関係で調べさせる。
まとめる・いかす	⑧国の政治3-裁判所の働き ○裁判所に関する資料を収集して調べ、裁判所の働きについて、 わかったことや考えたことを話し合う。 ○学習したことをもとに、国会、内閣、裁判所の関係について話 し合う。 ○政治の働きについて、これまで学習してわかったこと、考えたこ とをノートにまとめる。(1時間)	○裁判所の働きについて、国民の権利 との関係で調べさせる。 ○国会、内閣、裁判所の関係を考えさ せる。
	⑨もっといろいろ調べてみよう ○堺市で行われている、さまざまな福祉事業について、収集した 資料をもとに調べる。 ・堺市では、人々の願いをもとに、さまざまな福祉事業が行われ ていること。(1時間)	○堺市の福祉事業について、グループ や個人で調べさせる。
	⑩-1まちづくりにわたしたちの声を生かそう ○学習したことをもとに、みんなの願いをいかした公園をつくるた めに、どのようなことに配慮したらよいかを話し合う。(0.5時間)	○子どもやお年寄りなど、いろいろな人 が公園に対してどのような願いもっ ているかを考えさせる。
	国民の祝日について考えよう ○国会でつくった法律によって定められた国民の祝日につい て、話し合う。(0.5時間)	○それぞれの祝日について、設けられ た意義について考えさせる。

5) 本時の活動

(1) 題材 税金のはたらきを調べる

(2) ねらい

子育て支援センターにかかる費用をもとに、税金が重要な役割を果たしていることについて気づかせる。

(3) 準備物 デジタル教科書 副読本「税金のはなし」

(4) 学習過程

段階	学 習 活 動	主 な 支 援(○) と 評 価(※)
つ か む 5分	<p>1 前時の活動を振り返り、子育て支援センターでかかる費用について話し合うことを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 子育て支援のための費用はどこから出るのでしょうか。 </div>	<p>○デジタル教科書で前時までの学習を振り返り公共事業で使われている費用がどこから出されているのかをつかむことができるようにする。</p>
調 べ る 30分	<p>2 子育て支援センターでかかる費用について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 建物の建設 ○ 運営 <ul style="list-style-type: none"> ・ 働く人の給料 ・ 設備の修理 ・ 絵本やおもちゃ <p>3 費用の出るところについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市役所の収入 <ul style="list-style-type: none"> ・ 税金 ・ 補助金 ・ 借りるお金 <p>4 税金の集められ方や使われ方と使われ方について調べる。</p> <p>集められ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ものを買ったとき ・ 働いて収入を得たとき ・ 土地や家をもっている人から <p>使われ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育 ・ 消防や警察 ・ 道路の建設 ・ ごみの収集 	<p>○教科書を参考にどんなことにお金がかかるのかを話し合わせる。運営面については分かりづらい面があるので児童から出ない場合は教師側で出していく。</p> <p>○デジタル教科書を活用し、どこから出てくるお金で費用がまかなわれているのかをとらえやすくする。</p> <p>○税金については、分かりづらいので身近な消費税の話題を出し、そのほかにどんな税があるのかを教科書や副読本を参考にしながら考えることができるようにする。</p> <p>○税金の使われ方も教科書の図や副読本を参考にしながら話し合いを進める。</p>
ま と め る 10分	<p>5 子育て支援センターのための費用についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 子育て支援センターのための費用は、税金を使っている。 税金はみんなのための仕事（公共的な事業）に使われている。 </div> <p>6 次時の学習内容について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 租税教室で税金について税務署の方から話を聞くことを知る。 	<p>○税金の使われ方が分かりやすくなるよう子育て支援センターの建築や運営などみんなの願いを実現するために税金が使われていることを子どもたちのことばでまとめていく。</p> <p>※公共事業には税金が重要な役割を果たしていることに気付くことができたか。</p> <p>○次時は租税教室を行い、税金の使われ方等について分かりやすく話していただくことを知らせ、関心を高める。</p>

6) 租税教室の様子と児童の感想

いろいろな税金があるのが分かりました。
税金がないとみんなが困ることが分かってよかったです。



「税金についての説明を受ける」

突然1億円が出てきてびっくりしました。
1億円はとても重かったです。



「1億円の重さを感じて」

租税教育実践事例（6 学年）

登米市立南方小学校
教諭 佐藤 ゆかり

1 小单元名 私たちのくらしと税金

2 指導にあたって

(1) 小单元について

児童はこれまでの学習や生活経験の中で、消費税など税金を意識する機会があったが、それほど自分たちの身近なものとは意識していない。税金が自分たちの生活の中でどのように使われ、生かされているのかを正しく理解していないため、税金が必要だとは知っていても、なぜ必要なのかがはっきり分かっていない。

そこで、本单元では私たちの生活は税と深く関わっており、豊かな暮らしを実現するためには税金はなくてはならないものだということを気付かせていきたいと考える。

(2) 児童の実態（男9名，女10名，計19名）

[アンケートによる実態調査]

- 1 税金ということばを知っていますか。
 - ・知っている 17人
 - ・知らない 2人
- 2 税金にはどんな種類がありますか。
 - ・分からない7人
 - ・消費税 ・住民税 ・農税 ・民税 ・年金 ・保証金
 - ・大人が払っているお金
- 3 税金はどんなことに使われていますか。
 - ・国や市 ・机や教科書 ・救助 ・公共の場 ・救急車 ・病院や町
 - ・人々のくらし ・困っている人を助ける
- 4 税金は必要だと思いますか。
 - 【必要18人】
 - ・みんなの役に立つから
 - ・国がなくなるかもしれないから
 - ・私たちのくらしを支えているから
 - ・学校に行けなくなるから
 - ・救急車や消防車にお金がかかる
 - ・みんなで助け合うのは良いことだから
 - ・人々のくらしが楽になるから
 - ・くらししていけなくなるから
 - 【必要でない1人】

3 小单元目標

(1) 社会的事象への関心・意欲・態度

税金の働きについて関心をもち、意欲的に調べようとしている。

(2) 社会的事象についての知識・理解

税金の働きや必要性について理解することができる。

4 学習計画


時数	主な学習活動
1	税金とは何かを理解する。
1	法人会の方のお話を聞き，税金について理解を深める。(本時)
1	活動のまとめとして，税金絵はがきを書く。

5 本時の指導

(1) ねらい

法人会の方のお話を聞き，税金がわたしたちの生活を支えるために大切な役割を果たしていることを理解する。

(2) 学習過程

段階	主な学習活動	○児童の様子 ・ 児童の反応
導入	1 本時の学習課題を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 私たちの暮らしと税金のかかわりについて考えよう。 </div> 2 外部講師の紹介を聞く。	○登米法人会の金野さんから税金についてのお話を聞いた。
展開	3 税金の種類を知る。 (1) 知っている税金を発表する。 (2) 50種類，57兆円の税金が集められていることを知る。 (3) 1億円のレプリカを実際にもってみる。	<ul style="list-style-type: none"> ・消費税 ・固定資産税 ・家庭税？など
閉	4 税金の使われ方を知る。 (1) 税金が使われているものとそうでないものにカードを分ける。	<div style="text-align: center;">  </div> ○予想以上に重いことに驚いていた。 ○57兆円はこれが57万個分と知り更に驚いていた。



- (2) 学校の物には税が使われていること知る。
- ・学校に税金が使われなくなってお金を払わなければならない場合月謝はいくらか。

5 DVD『マリンとヤマト不思議な日曜日』を視聴し、税金の必要性を知る。

- (1) 税金がなくなったらどうなるかを知る。
- ・救急車
 - ・消防車
 - ・信号
 - ・大きい物だと1億5千万位かかる

(2) 国民の三大義務を知る。

- (3) 税金クイズに答える。
- ・外国にある税
 - ・所得税がかかるもの
 - ・税務署を表す記号
 - ・利用すると税金がかかるもの



- 工場，ホームセンター，スポーツクラブが分からずに迷っていた。全員で考えて，ホームセンター，スポーツクラブは使われていない方にするが，工場は使われている方にした。

- ・教科書の裏を見てみた。
- ・5万円と答えた児童が約半数いた。



○真剣に見入っていた。

- ・働く義務

・??



- ・安部総理大臣は税金をどれくらい納めているか聞いて驚いていた。

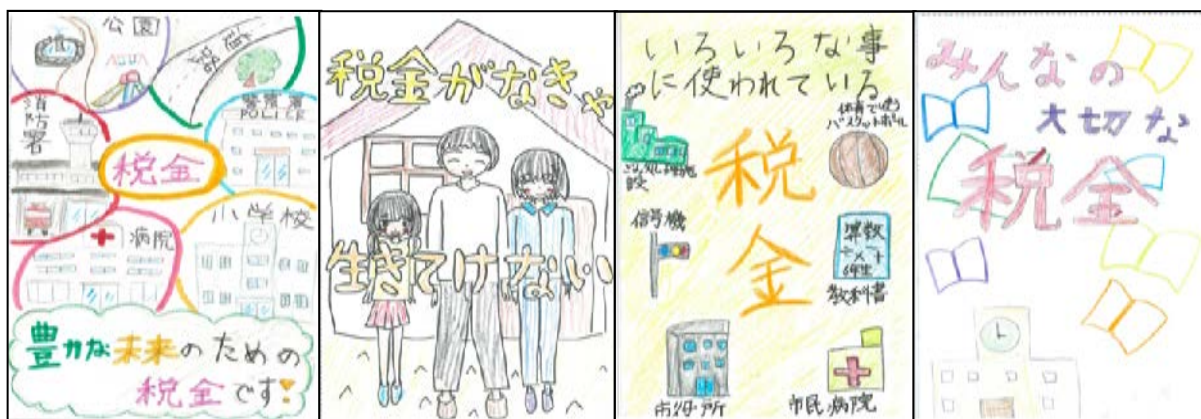
まとめ

- 6 本時を振り返り，質問をする。
- 7 税金について分かったことを絵はがきにまとめることを知らせる。

6 児童の感想

- ・税金がいろいろなことに使われていることが分かりました。ぼくも将来、たくさん稼いでたくさん税金を納めたいです。
- ・税金が人々の生活を支えていることが分かり、しっかり税金を払おうと思いました。
- ・1億円の重さにびっくりしました。
- ・税金がこの世からなくなったら、道路にたくさんごみがあったり、道路を歩いても信号もなく、歩道を通るにもお金がかかったり大変なので税金は必要だと思いました。
- ・税金がなくなったら学校にも行けなくなるから税金はあった方がいいと改めて思いました。しかも火事とかになったら消防車を呼ぶのにもお金がかかるのは大変だから、税金は必要だと思いました。

7 税の絵はがき



8 まとめと考察

- ・「わたしたちの暮らしと税金」やインターネットなどから情報を得ることができ、児童の学習に役立った。
- ・法人会の方に来ていただいてお話を聞いたことは児童にとって大変貴重な体験であり、短時間でたくさんのことを学ぶことができました。また、その中でDVDも効果的に活用され、税金がなぜ必要なのか理解しやすかった。
- ・税の学習が終わった後でも、税金のことが普段の生活や学習の中で話題にのぼるようになり、税金が自分たちの身近なものであるという意識が変わったことがうかがえる。
- ・学習したことをもとに税金絵ハガキを描いたことで、自分の考えを整理することができた。

1 はじめに

租税教育をおこなうにあたって、第 6 学年小学校社会科では、単元「私たちの生活と政治」が該当する。その指導内容は「国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。」「日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること。」である。

このように本単元が扱う内容が広範囲に渡ることから、身近な事例を取り上げ、有効と思われる資料を活用し具体的に指導し、税金についての理解を深めていく。

2 実践にあたって

【税に関する標語制作について】

6 年生が、税金についてのパンフレット「わたしたちのくらしと税」を使用し税金について学ぶとともに、学習したことをもとに税に関する標語を作り応募した。パンフレットを活用し税のしくみや税の使いみちなどを学習することで、私たちにとって税は身近なものであることを学び、私たちの暮らしを支える大切な役割を果たしていると感じることができた。そして、それぞれの税に対する思いを標語にしてコンクールに応募するという活動に取り組んだ。

〈税に関する標語〉

○税金は みんなの生活 ささえるよ K・A

○私達の生活は 税金で成り立っているんだね K・H

【出前授業から】

- 1 単元名 私たちの生活と政治
- 2 小単元名 「子育て支援の願いを実現する政治—税金の働き—」
- 3 本時のねらい
 - ・市民の願いを実現するために税金が重要な役割を果たしていることについて、資料を活用したり、ゲストティーチャー（登米市法人会の方）を招いたりして必要な情報を集め、税金の重要性を理解する。
- 4 本時の評価規準
 - ・どのような施設や物に税金が使われているか関心をもち、進んで調べようとしている。【関心・意欲・態度】
 - ・国民生活の安定を図るために、税金が果たしている役割について考えてみる。【思考・判断・表現】
 - ・税金に関する資料を活用して、必要な情報を集めて変化や数値を読み取っている。【技能】
 - ・税金は様々な方法で集められ、公共的な事業に使われていることを理解している。【知識・技能】
- 5 指導の着眼
 - ・既習事項の「租・庸・調」や年貢、地租改正などの内容を想起させ、税が昔から




存在したことや政治に必要なことを理解させる。


- ・さまざまな公共施設の予算はどこから出るか考えさせ、税金の働きを理解する手がかりとする。
- ・ゲストティーチャーを招き、税の必要性について理解できるようにする。

3 授業実践

題 材：「税金の働きを調べる」

ねらい：公共施設の建設費用と税金の関係や、税金の働きについて調べ、まとめることができる。

	学 習 の 様 子	支 援 ・ 留 意 点
つ か む (5)	<p>1 本時の学習内容をつかむ。</p> <p>○身近な施設・設備で税金が使われているか、いないか考えさせる。</p> <p>・一人ずつ施設・整備のカードを黒板に貼り自分の考えを示す。</p> <p>・税金が使われているか確認する。</p> <p>「公的な施設・設備」 「民間の施設・設備」</p> 	<p>○税金に対して興味関心を高めさせるために、登米市の施設や建物を写真で示し公共の施設を確認する。</p> <p>・病院 ・消防車 ・公民館 ・学校 ・公園 ・図書館 ・橋 ・市民プール・信号機 ・パトカー ・ファミレス ・電気店 ・工場 ・ショッピングセンター ・スーパー ・ファーストフード店 等</p>
調 べ る (30)	<p>2 自分たちの身近な学校でどのように税金が使われているかを考える。</p> <p>・教科書・学校施設・机等</p> <p>○もし学校に通うのに料金を払わなければいけないとしたらどのぐらいの月謝がかかるのか考える。</p> <p>3 町の様子に目を向けさせ、税金の使われ方と必要性を考える。</p> <p>○DVDを視聴する。</p> <p>・税金のない世界ではどんなことが困るのかを視聴を通して考える。</p>  <p>4 どのようにして税金が集められ、使われ方が決められていくのかを考える。</p> 	<p>○税金を身近に感じさせるために、学校の中の物や生活を振り返らせ、具体的に税金の使われ方を理解させる。</p> <p>・塾や習い事などの月謝から想像して発表させる。</p> <p>○税金の必要性に気付かせるために、「もしも、〇〇がなかったら」と、実際の生活に基づいて考えさせる。</p> <p>・道路や信号機、歩道橋、標識 ・色々な公共の建物（警察署、消防署、市役所、公民館） ・パトカー、消防自動車、救急車、ごみ収集車 ・警察官、消防士などの役割</p> <p>○すべての国民が健康で豊かな生活を送ることができるようにするためにみんなが出し合うお金（会費）であることを理解させる。</p> <p>・物を買ったとき（消費税） ・会社に勤めている人（所得税） ・自分で商売をしている人（所得税） ・その町に住んでいる人（住民税）</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・たばこや酒、ガソリンを買ったとき（たばこ税、酒税、石油ガス税） ・議員の話し合いによって使い方が決められる。
まとめ る (10)	<p>5 学習のまとめをする。</p> <p>○実際に1億円の重さを体感する。</p>	<p>○学習内容を深めるために、資料を活用し、重要事項を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税金の使い道・税金の仕組み ・税金の使い方・国民の義務 <p>○1億円が実際にどのぐらいのものなのか実感をもたせるためにレプリカを使い一人ずつ体験をする。</p>

4 租税教室や税金に関する授業の感想

私は、税金の勉強をして改めて税金の大切さを感じることができました。DVDを観て税金は、信号機やごみの収集など色々なところで使われていることを知って、税金がないと大変だということが分かりました。
税金のことは余り知りませんでしたが、この時間で、身の回りでも税金が使われていることがたくさんあることを知りました。税金がこの国にとって大切なものであることがよくわかりました。
税金は、みんなの安全・安心を守るため必要だと思いました。この授業で、改めて税金は必要なんだなあと思いました。
私は、最初、税金なんて無ければいいのと思っていた。でも、話を聞いて税金がなくなったら大変なことになることに気付きました。これからは、お金を払うときに、税金のことを思い出してみたいと思います。
税金の仕組みがよく分かりました。私は、税金って本当に必要なのかなあと思っていました。でも、DVDや話を聞いて税金がなくなったら大変だなあと思いました。1億円もとっても重かったです。この貴重な体験は忘れません。
税金の勉強をして分かったことは、税金がないと平和な暮らしができないということが分かりました。税金は大切だと思いました。すごくいい勉強になりました。
税金には、いろいろな種類があることが分かりました。そして、税金の大切さも分かりました。これからも税金のことについて勉強していきたいです。

5 指導を終えて

- ・登米法人会の方々の協力をいただき、租税教室を実施することができ、専門的な知識と情報で児童の税に対する興味・関心は大いに高まり、理解を深めることができた。
- ・税金の必要性を考えさせる DVD の内容は6年生に分かりやすく、税金の必要性を考える上で効果的だった。
- ・税金に関する今回の取組は、税金の必要性を理解するとともに社会参画の意識を育てる上でも有効であった。



平成28年度 租税教育実践事例（第3学年）

登米市立東和中学校
講師 林 佳舗

1 単元名 「政府の役割と国民の福祉」

2 単元目標

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
身近な社会資本や公共サービスについて調べる中で、政府の経済的な役割に関心を持つ。	国民の生活と福祉の向上を図るために、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について、財源の確保と配分や、対立と合意、効率と公正などの観点から、多面的・多角的に考察し、公正に判断することができる。	財政に関する統計資料などから読み取ったことや考えたことを分かりやすくまとめることができる。	国民の生活と福祉の向上を図るために政府が果たしている役割について、具体的に理解することができる。

3 本時の指導

(1) 指導にあたって

国民生活の中で、税金がどのように使われているのか考えさせたい。そのため、実際に税を用いて作られている施設や設備などをあげさせることによって、身近なものとしてとらえさせたい。

(2) 言語活動について

- ・ペア学習を取り入れることで、考えの共有や深化を図れるような環境をつくる。
- ・グループでの話し合いでは、一人一人の意見をノートにしっかりと記入させる。また、班ごとの発表の際には、周りに聞く姿勢を持たせ、どのような意見でも、全員で拍手を行い一体感を持たせるような雰囲気づくりをしていく。

(3) 本時のねらい

- ・身近な事例を通して、税に関する関心を高めることができる。【関心・意欲・態度】
- ・話し合いを通して税金の役割に気づき、自分の考えを説明することができる。【思考・判断・表現】

(4) 指導過程（別紙）

(5) 評価

- ・身近な事例を通して、税に関する興味・関心を高めることができたか。【関心・意欲・態度】
- ・税金の役割に気づき、所得税と間接税の違いについて、自分の考えを説明することができたか。【思考・判断・表現】

段階	学習活動	形態	教師の支援
導入	1 身近な税について想起させる。 2 本時の学習内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">直接税と間接税の違いを考えよう</div>	一斉 一斉	<ul style="list-style-type: none"> なるべく多くの意見をあげさせる。 テレビを活用し、本時の流れを説明する。
課題の解決 (30分)	3 なぜ税金を納めるのか考え、プリントに記入する。 4 記入したプリントをお互いに確認し発表する。 5 政府はどこから収入を得て、どのようなことに支出しているのかを教科書や資料を参考に確認する。 6 国民が納める税金にはどんな種類があるか考えさせる。 7 直接税と間接税の違いを考えさせる。	一斉 ペア 一斉 一斉 グループ	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行い、記入状況を確認する。 複数のペアに発表させる。 発表後、他のペアの意見をプリントに記入させる。 教科書や資料を参考に、これまで学習してきた家計と企業との関係から捉えさせる。 さまざまな税を種類別に分類させてみる。 <ul style="list-style-type: none"> ①誰が負担し納めるか (徴税方法) ②どこに納めるか (集める主体) まとめの時間を考えながら、時間を決め、声かけを行う。 各グループの代表者に発表させる。
まとめ (10分)	8 直接税と間接税の違いについて、【納税者】と【担税者】をキーワードにまとめさせる。 <u>解答例</u> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 所得税や法人税など、納税者と担税者が一致税金を直接税、消費税など、納税者と担税者が一致しない税金を間接税という。 </div>	一斉	<ul style="list-style-type: none"> 机間支援により、補足や激励をしたりして、個別的な指導・援助を行う。
	9 まとめたものを発表させ、振り返りを行う。	一斉	<ul style="list-style-type: none"> 次時の予告を行う。

租税教室（7月14日）について

登米法人会から講師先生を迎えて



講義では、1億円のレプリカを見たり、持ったりすることで、お金について興味を持ちながら学習することができました。また、後半のDVD視聴では、税金がなくなると、どのような町になってしまうのかについて理解することができました。講義の最後には、まとめとして納税の義務について詳しく学ぶことができました。

【生徒の感想から】

- ・今回の租税教室では消費税以外の税も日本にはたくさんあるということを知りました。自分達の身のまわりにある税金について、もっと詳しく知りたいと思いました。
- ・私たちが生活する中で使われている税金は、当たり前のように通っている学校や道路などに利用させていることを知りました。
- ・今までは税金という言葉聞くことは多くありましたが、詳しく考えたことがありませんでした。しかし、今回の租税教室を終えて、税金のありがたさに気付くことができました。これからはもっと税金について詳しく調べていきたいと思えます。

【成果と課題】

- ・自分達が納めている消費税だけでなく、所得税などもどのような使われ方をしているのかという関心を持つ生徒が出てきた。
- ・授業後にも、税金に対する質問をしてくる生徒がいるなど、もっと詳しく知りたいという欲求が高まったようである。
- ・税に対する意識が以前よりも強くなったことで、税金の必要性を以前よりも感じたようである。
- ・税金に対して、より深く学びたいという生徒がいる一方で、税は「取られる」ものと悪いイメージを持っている生徒がいた。今後の授業で引き続き、必要なものであるということを考えさせていきたい。

平成 28 年度 租税教育実践事例（3 学年）

登米市立南方中学校
教諭 鈴木 一郎

1 はじめに

3 学年の公民学習では、第 3 章 3 節「地方自治と私たち」、第 4 章 4 節「政府の役割と国民の福祉」などが租税教育に関わりの深い単元である。今年度は夏休み前に、税務署に出前授業を依頼した。税の専門官の講話を聴くことで、税のしくみや役割について、より理解を深められるのではと考えた。税の作文との関連もあり、夏休み前に実施し、単元を入れ替えて「政府の役割と国民の福祉」についての授業を、租税教室直後に実施した。

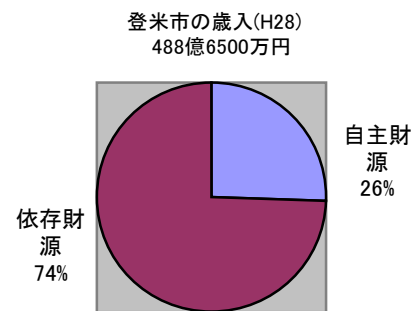
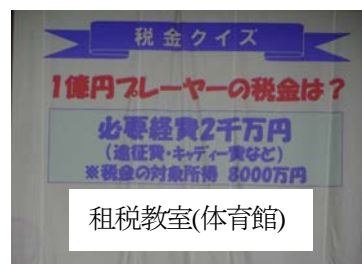
租税教室では、講話に加えて DVD 視聴などもあり、身近な生活と税の関わりや税の役割について理解を深めることができた。さらに授業では税の種類と役割について学習した。

10 月に地方自治単元を指導した際、地方財政における財源の確保との関連で税について改めて指導した。以下はこのときの指導案になる。ねらいは、地方行政にとって財源の確保は切実な問題であるが、少子高齢社会を迎えて、多くの自治体が自主財源を十分に確保できない状況にあることを理解させ、住民として納税の義務を果たすことが、自分たちの生活を支えることになることを納得させることをねらったものである。

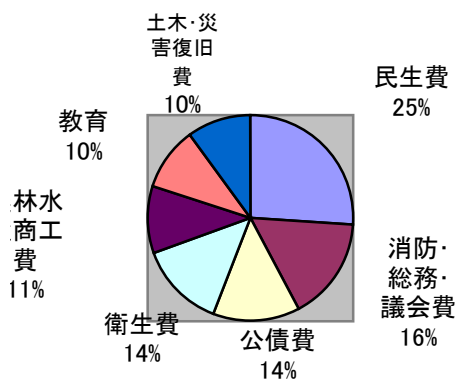


2 授業について（10 月実施）

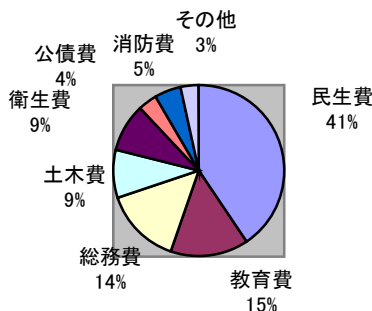
単元名	地方自治
本時の目標	・地方都市の抱える財政問題について理解を深め、地域に関わろうとする心を育てる。
生徒の実態	・租税教室と税の種類と役割の授業を行ったので、所得税、消費税、直接税、間接税、累進課税、国民の三大義務といったことがらについてはほぼ理解できている。税の作文を読んでも、税がなければ日常生活に支障が出ることは理解している。
授業づくりの主な視点	・登米市の財政状況をホームページで確認させ、興味を引き出す。県内で少子高齢化率の最も低い富谷市の財政状況と比較させ、自治体によって自主財源・依存財源の割合が異なることに気付かせる。そのうえで、納税の義務の大切さを理解させる。 ・班内で自分の考えを出し合い、全体の場で班の代表が必ず発表ができるように励ます。



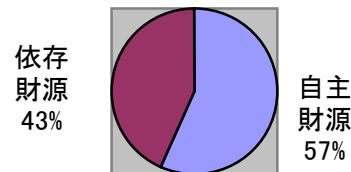
登米市の歳出(H28) 488億6500万円



富谷市の歳出(H28)129億2600万円



富谷市の歳入(H28)
129億2600万円



3 授業の流れ 準備物：資料（登米市広報または議会だより、宮城県白地図、教科書・資料集、ノート）

テレビ パソコン

主な活動	形態	□留意点 ★評価
<p>1 登米市と富谷市の財政状況のグラフをみて読み取れることを指摘する。 登米市と富谷市のデータを比べてどんな違いが読み取れるか。</p>	<p>一斉 5分</p>	<p>□テレビ画面でグラフを紹介し、板書し、写させる。 依存財源と自主財源について復習する。</p> <p>インターネットを使って、ホームページを見せて、誰でも自治体の財政状況を確認できることを紹介し、登米市と富谷市の財政のデータを見せる。</p> <p>□宮城県地図で登米市と富谷市の位置を確認する。</p>
<p>2 補助金にたよる財政は健全とはいえないことを理解する。</p>	<p>一斉</p>	<p>教科書で財政の健全化を読ませる。</p>
<p>3 なぜ富谷市の自主財源は50%を越しているのか考える。 ・班内でいろいろな考えを出させる。</p>	<p>個別</p>	<p>□グラフのような違いがなぜ生じるのか考え、話し会わせる。</p>
<p>4 財政健全化に向けてどんな取組をすればよいのだろう。 ・班内でいろいろな考えを出させるが、最重要施策をしばらせる。</p>	<p>一斉</p>	<p>□テレビのマップで地域の比較をさせる。 ・話し合いがしやすいように、白地図にグラフを描かせる。</p> <p>★人口や面積の違いに注目した生徒がいたら、着眼のよさを評価する。</p> <p>★人口密度、企業数等他の要素にふれた生徒がいたら評価する。</p> <p>★高齢化率、生産人口の割合等にふれる生徒がいたら評価する。</p>
<p>5 ふるさと納税に関する新聞の論説を読む</p>		<p>学び合い 【思考・判断・表現】</p>
<p>6 学習の振り返り 感想をノートにまとめる</p>		<p>□自分の言葉で表現することが大切であることを理解させながら。みんなに聞こえる声で発表させる。</p>

4 授業を振り返って

- ・登米市の市町村別の地図を示したとき、9町の位置関係を正確に把握している生徒が意外に少なく、中学校における地域の地理学習が不十分だったことが反省された。
- ・市役所に就職したいと希望する生徒が数名いるので、地域の課題として少子高齢化に触れることを意識した。地方財政の授業を通じて、少子高齢化は切実な問題であることを理解させられたと思う。
- ・生徒の何人かは「ふるさと納税」について知っており、メリットだけがあるものととらえているようであったが、「ふるさと納税はオレオレ詐欺に等しい」という、かつて知事を務めた慶応大学教授の新聞論説を紹介したとき、ふるさと納税のしくみにも賛否両論があることを理解したようである。これはメディアリテラシーにもつながるものと考え。当地に住んでいる人が自分の地域に税を納めるのが基本であるという考え方に立てば、住民税の重要性を意識してもらえるのではと考えた。
- ・税の公平性に関しては、「直接税」と「間接税」のどちらの比重を重くすべきかという問いかけよりも、「所得税」と「消費税」ではどちらの比重を重くすべきかという問いの方が、生徒は意見を述べやすいように感じた。

平成28年度 租税教育推進協力者

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
登米市 迫町 北方小学校	6学年	佐藤 純 教諭
登米市 東和町 米川小学校	6学年	佐藤 理英 教諭
登米市 中田町 上沼小学校	6学年	佐藤 秀明 教諭
登米市 米山町 中津山小学校	6学年	鈴木 周一 教諭
登米市 南方町 南方小学校	6学年	佐藤 ゆかり 教諭
登米市 津山町 横山小学校	教務主任	浅野 克樹 教諭
登米市 東和町 東和中学校	社会科	林 佳舗 講師
登米市 南方町 南方中学校	社会科	鈴木 一郎 教諭

平成 28 年度 登米市租税教育推進協議会構成員名簿

(敬称略)

役職名	所 属	氏 名
会長	登米市教育委員会 教育長	佐藤 信 男
幹事	宮城県東部教育事務所登米地域事務所 所長	志小田 美 弘
幹事	登米市小学校長会 会長	金 信 哉
幹事	宮城県東部県税事務所登米地域事務所 所長	高橋 清 徳
幹事	登米市総務部次長兼税務課長	富士原 徹
幹事	佐 沼 税 務 署 署 長	鈴木 芳 樹
	県北高等学校長会 登米地区代表	小野寺 清 隆
	登米市中学校長会 会長	金 野 勉
	登米市教育研究所 所長	加藤 敬 一
	登米市教育委員会 生涯学習課 課長	佐藤 嘉 浩
	登米市納税貯蓄組合連合会 会長	堀 田 繁 雄
	公益社団法人登米法人会 会長	高 田 次 雄
	東北税理士会宮城県北支部佐沼部会 部会長	及 川 富 男

歴代租税教育推進協力者

昭和61年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名	
南方町	西郷小	2 学年	鈴木陽子	教諭
登米町	登米小	2 学年	長谷信一	教諭
米山町	善王寺小	3 学年	熊谷仁一	教諭
迫町	北方小	4 学年	豊原仁	教諭
南方町	南方小	6 学年	富士原啓子	教諭
迫町	佐沼小	6 学年	畠山信弘	教諭
石越町	石越中	社会科	菊田郁朗	教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺達郎	教諭

昭和62年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名	
豊里町	豊里小	3 学年	今野文彦	教諭
米山町	中津山小	4 学年	伊東博敏	教諭
南方町	西郷小	4 学年	菅原満夫	教諭
登米町	登米小	5 学年	菅原純一	教諭
南方町	南方小	5 学年	成澤淑子	教諭
迫町	北方小	6 学年	中津川良子	教諭
登米町	登米中	社会科	鈴木幹雄	教諭
豊里町	豊里中	社会科	沼田芳孝	教諭

昭和63年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名	
迫町	北方小	1 学年	岩渕安弘	教諭
米山町	桜岡小	2 学年	海野達兄	教諭
登米町	登米小	3 学年	千葉直子	教諭
迫町	佐沼小	4 学年	飯塚豊	教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	佐藤教子	教諭
東和町	米谷小	6 学年	及川茂法	教諭
米山町	米山中	社会科	及川喬	教諭
南方町	南方中	社会科	佐藤徳明	教諭

平成元年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名	
中田町	石森小	2 学年	畠山蓉子	教諭
南方町	南方小	3 学年	小野寺蔦	教諭
石越町	石越小	3 学年	石山順	教諭
迫町	新田第一小	5 学年	石合克行	教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野峻	教諭
東和町	米谷小	6 学年	桜井浩志	教諭
迫町	佐沼中	社会科	菊池信夫	教諭
中田町	中田中	社会科	吉野幸信	教諭

歴代租税教育推進協力者

平成2年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	5 学年	菅原一子 教諭
中田町	石森小	6 学年	高橋節子 教諭
南方町	南方小	5 学年	小野寺 薫 教諭
石越町	石越小	1 学年	石山 順 教諭
迫町	北方小	4 学年	石合 克行 教諭
米山町	米岡小	5 学年	日野 峻 教諭
迫町	新田中	社会科	千葉 忠徳 教諭
石越町	石越中	社会科	二階堂 和夫 教諭

平成3年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	3 学年	菅原一子 教諭
東和町	錦織小	4 学年	及川 晃史 教諭
東和町	米川小	5 学年	小野寺 夕へ子 教諭
中田町	石森小	5 学年	高橋 節子 教諭
中田町	浅水小	5 学年	末永 澄子 教諭
中田町	加賀野小	6 学年	佐藤 美恵 教諭
登米町	登米中	社会科	矢内 昭裕 教諭
東和町	東和中	社会科	小野寺 達郎 教諭

平成4年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	3 学年	大場 しの 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
南方町	西郷小	6 学年	齋藤 裕之 教諭
中田町	浅水小	3 学年	末永 澄子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	熊坂 昭子 教諭
東和町	錦織小	6 学年	及川 晃史 教諭
豊里町	豊里中	社会科	畠山 俊彦 教諭
米山町	米山中	社会科	小野 敦史 教諭

平成5年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	5 学年	菊池 敏一 教諭
迫町	新田第二小	4 学年	高橋 眞理 教諭
豊里町	豊里小	6 学年	熊谷 昭子 教諭
中田町	宝江小	6 学年	須藤 勝子 教諭
米山町	善王寺小	4 学年	太田 弥 教諭
南方町	東郷小	5 学年	千葉 一彦 教諭
中田町	中田中	社会科	畠山 俊彦 教諭
南方町	南方中	社会科	佐々木 由美 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成6年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
南方町	東郷小	6学年	千葉一彦 教諭
石越町	石越小	6学年	高橋節子 教諭
中田町	桜場小	6学年	菅原啓士 教諭
中田町	新井田小	6学年	森田久 教諭
東和町	鱒淵小	5学年	佐藤孝文 教諭
迫町	北方小	6学年	高橋純 教諭
石越町	石越中	社会科	矢内昭裕 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭

平成7年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	佐沼小	6学年	庄子裕 教諭
中田町	宝江小	6学年	鈴木久美 教諭
東和町	嵯峨立小	6学年	須藤勝子 教諭
登米町	登米小	5学年	沼倉弘子 教諭
米山町	中津山小	5学年	門田洋之 教諭
豊里町	豊里小	5学年	長南忠男 教諭
米山町	米山中	社会科	小野寺文晃 教諭
中田町	中田中	社会科	佐々木正生 教諭

平成8年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	6学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6学年	沼倉弘子 教諭
東和町	米谷小	6学年	渋谷雄二郎 教諭
中田町	石森小	6学年	高橋晋 教諭
豊里町	豊里小	5学年	鈴木有 教諭
米山町	中津山小	6学年	門田洋之 教諭
石越町	石越小	T T	佐藤浩子 教諭
南方町	西郷小	5学年	小野寺夕へ子 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
豊里町	豊里中	社会科	渡邊淳一 教諭

平成9年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第一小	4学年	清和幸彦 教諭
登米町	登米小	6学年	寺川雅洋 教諭
東和町	錦織小	6学年	石川克行 教諭
中田町	上沼中央小	6学年	皆川寛 教諭
豊里町	豊里小	5学年	長南忠男 教諭
米山町	中津山小	6学年	後藤俊朗 教諭
石越町	石越小	6学年	高橋敏子 教諭
南方町	西郷小	5学年	佐藤和枝 教諭
東和町	東和中	社会科	佐々木正生 教諭
南方町	南方中	社会科	藤浦悟 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成10年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	6 学年	菅原博 教諭
登米町	登米小	6 学年	佐々木勝江 教諭
東和町	嵯峨立小	6 学年	高橋秀憲 教諭
中田町	上沼小	5 学年	鈴木典幸 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	水沼勝 教諭
米山町	桜岡小	6 学年	菅原善彦 教諭
石越町	石越小	5 学年	熱海宏明 教諭
南方町	南方小	6 学年	佐藤秀明 教諭
登米町	講師	社会科	三浦秀治 教諭
石越町	石越中	社会科	山家英樹 教諭

平成11年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	3 学年	菅原博 教諭
登米町	登米小	6 学年	萩田志保子 教諭
東和町	米谷小	5 学年	鈴木真理 教諭
中田町	浅水小	5 学年	佐藤教子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	兵藤清美 教諭
米山町	中津山小	6 学年	佐藤勉 教諭
石越町	石越小	5 学年	桜井ひろみ 教諭
南方町	東郷小	5 学年	熊谷俊子 教諭
迫町	新田中	社会科	中津川英樹 教諭
米山町	米山中	社会科	石田康之 教諭

平成12年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	T T	岩渕安弘 教諭
登米町	登米小	6 学年	熱海宏明 教諭
東和町	錦織小	5 学年	菅原善彦 教諭
中田町	桜場小	5 学年	佐藤美紀子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	後藤智子 教諭
米山町	米岡小	5 学年	秀由佳 教諭
石越町	石越小	5 学年	野里恵二 教諭
南方町	西郷小	5 学年	笹原明美 教諭
迫町	佐沼中	社会科	大場正浩 教諭
中田町	中田中	社会科	箱石雄悟 教諭

平成13年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	4 学年	金野ゆかり 教諭
登米町	登米小	6 学年	飯塚市代 教諭
東和町	鱒淵小	6 学年	中井充夫 教諭
中田町	石森小	5 学年	岩渕公一 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	矢野美智代 教諭
米山町	善王寺小	5 学年	遠藤聡子 教諭
石越町	石越小	5 学年	佐藤眞紀 教諭
南方町	南方小	6 学年	石井大志 教諭
東和町	東和中	社会科	高橋和芳 教諭
豊里町	豊里中	社会科	矢内昭裕 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成14年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	森小	6 学年	千葉 ゆかり 教諭
登米町	登米小	6 学年	後藤 俊朗 教諭
東和町	米川小	5 学年	佐藤 建雄 教諭
中田町	加賀野小	5 学年	渡邊 宏紀 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	伊藤 悦子 教諭
米山町	桜岡小	6 学年	蓬田 昭彦 教諭
石越町	石越小	5 学年	庄司 紀子 教諭
南方町	東郷小	5 学年	千葉 裕子 教諭
南方町	講師	社会科	小野寺 彰哉 教諭
登米町	登米中	社会科	藤浦 悟 教諭

平成15年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	新田第二小	5 学年	門田 りえ 教諭
登米町	登米小	5 学年	三浦 教順 教諭
東和町	嵯峨立小	5 学年	加瀬谷 武敏 教諭
中田町	新井田小	6 学年	高橋 広満 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	千葉 浩幸 教諭
米山町	中津山小	5 学年	村上 喜久美 教諭
石越町	石越小	5 学年	山口 沙織 教諭
南方町	西郷小	5 学年	遠藤 恵 教諭
迫町	新田中	社会科	山家 英樹 教諭
石越町	石越中	社会科	中津川 英樹 教諭

平成16年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
迫町	北方小	6 学年	佐藤 浩人 教諭
登米町	登米小	5 学年	佐藤 裕 教諭
東和町	米谷小	6 学年	佐藤 康 教諭
中田町	宝江小	6 学年	佐藤 祥子 教諭
豊里町	豊里小	5 学年	佐藤 裕志 教諭
米山町	米岡小	6 学年	阿部 孝紀 教諭
石越町	石越小	5 学年	高橋 美至 教諭
南方町	南方小	5 学年	佐々木 和枝 教諭
米山町	米山中	社会科	箱石 雄悟 教諭
中田町	中田中	社会科	吉田 淳子 教諭

平成17年度

(順不同)

所	属	担任・担当	氏名
佐沼小	佐沼小	6 学年	千葉 克憲 教諭
錦織小	錦織小	5 学年	佐藤 理英 教諭
石森小	石森小	5 学年	鹿野 俊洋 教諭
加賀野小	加賀野小	6 学年	鈴木 周 教諭
中津山小	中津山小	5 学年	伊藤 伸子 教諭
桜岡小	桜岡小	6 学年	鈴木 明美 教諭
東郷小	東郷小	5 学年	千葉 裕子 教諭
柳津小	柳津小	6 学年	加藤 浩二 教諭
佐沼中	佐沼中	社会科	伊藤 志穂 教諭
豊里中	豊里中	社会科	寺内 篤 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成18年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新田第一小	6 学年	秋 葉 徹	教諭
嵯峨立小	5・6 学年	渡 邊 宏 紀	教諭
上 沼 小	6 学年	熊 谷 真 理 子	教諭
浅水小	6 学年	鈴 木 勝 彦	教諭
豊里小	6 学年	寺 内 篤	教諭
善王寺小	5・6 学年	菅 原 満 夫	教諭
西郷小	5 学年	千 葉 洋 子	教諭
横山小	5 学年	佐 藤 秀 俊	教諭
東 和 中	社会科	高 橋 和 芳	教諭
南 方 中	社会科	菅 原 栄 治	教諭

平成19年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新田第二小	6 学年	永 倉 郁 裕	教諭
米川小	6 学年	萩 原 達 也	教諭
鱒淵小	3・4 学年	長 南 忠 男	教諭
宝江小	6 学年	佐 藤 朱 美	教諭
中津山小	6 学年	米 島 久 智	教諭
米岡小	6 学年	三 浦 弘 義	教諭
石越小	6 学年	高 橋 聡 子	教諭
南 方 小	6 学年	鈴 木 久 美	教諭
登米中	社会科	藤 浦 悟	教諭
津山中	社会科	飯 川 弘 芳	教諭

平成20年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
北 方 小	6 学年	菅 原 善 彦	教諭
森 小	特別支援	芳 賀 明 洋	教諭
桜岡小	6 学年	千 葉 高	教諭
善王寺小	6 学年	菅 原 満 夫	教諭
中津山小	6 学年	村 上 喜 久 美	教諭
米谷小	5 学年	佐 々 木 里 香	教諭
石森小	5 学年	澁 谷 智 樹	教諭
加賀野小	6 学年	大 友 厚 子	教諭
新田中	社会科	箱 石 雄 悟	教諭
石越中	社会科	田 口 勇 介	教諭

平成21年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
佐 沼 小	6 学年	千 葉 恵 理 子	教諭
森 小	5 学年	鈴 木 淳	教諭
錦織小	6 学年	芳 賀 明 洋	教諭
浅水小	6 学年	小 野 寺 博 美	教諭
米岡小	6 学年	佐 藤 英 明	教諭
南 方 小	6 学年	高 橋 敏 子	教諭
柳津小	6 学年	菅 原 満 夫	教諭
佐 沼 中	社会科	小 山 紘 明	教諭
米 山 中	社会科	守 康 幸	教諭

歴代租税教育推進協力者

平成22年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小	6 学 年	皆 川 寛 教諭
米 谷 小	社会科主任	小 畠 宏 夫 教諭
石 森 小	5 学 年	澁 谷 智 樹 教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 美 紀 子 教諭
中 津 山 小	6 学 年	伊 藤 秀 樹 教諭
石 越 小	6 学 年	幡 江 真 穂 教諭
東 郷 小	6 学 年	鈴 木 有 教諭
横 山 小	6 学 年	及 川 信 太 郎 教諭
豊 里 中	社会科	井 上 鮎 香 教諭
南 方 中	社会科	富 安 隆 文 教諭

平成23年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
新 田 小	6 学 年	箱 石 雄 悟 教諭
登 米 小	6 学 年	伊 藤 敬 教諭
米 川 小	6 学 年	渡 邊 宏 紀 教諭
宝 江 小	6 学 年	進 藤 俊 博 教諭
豊 里 小	6 学 年	小 野 寺 美 和 教諭
米 山 東 小	6 学 年	五 十 嵐 裕 子 教諭
西 郷 小	6 学 年	長 南 忠 男 教諭
柳 津 小	5 学 年	菅 原 満 夫 教諭
中 田 中	社会科	中 津 川 英 樹 教諭
津 山 中	社会科	飯 川 弘 芳 教諭

平成24年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
佐 沼 小	6 学 年	関 根 大 悟 教諭
森 小	6 学 年	後 藤 智 子 教諭
錦 織 小	2 学 年	芳 賀 明 洋 教諭
加 賀 野 小	6 学 年	加 藤 め ぐ み 教諭
浅 水 小	6 学 年	山 田 紀 子 教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 正 彦 教諭
南 方 小	4 学 年	大 槻 征 玄 教諭
東 郷 小	6 学 年	後 藤 大 典 教諭
東 和 中	社会科	藤 浦 悟 教諭
石 越 中	社会科	伊 藤 圭 講師

平成25年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名
北 方 小	6 学 年	佐 藤 純 教諭
米 谷 小	6 学 年	阿 部 孝 紀 教諭
石 森 小	5 学 年	千 葉 裕 子 教諭
上 沼 小	6 学 年	佐 藤 勉 教諭
中 津 山 小	5 学 年	菅 原 真 理 教諭
石 越 小	6 学 年	門 田 洋 之 教諭
西 郷 小	6 学 年	佐 藤 眞 紀 教諭
横 山 小	教務主任	鈴 木 明 美 教諭
登 米 中	社会科	遠 藤 孝 講師
米 山 中	社会科	清 水 裕 治 教諭

歴代租税教育推進協力者

平成26年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
新 田 小	6 学 年	鈴 木 健 太 郎	教諭
登 米 小	6 学 年	伊 藤 敬	教諭
米 川 小	6 学 年	高 橋 寛	教諭
宝 江 小	6 学 年	鈴 木 真 亀 子	教諭
豊 里 小	6 学 年	千 葉 恵 理 子	教諭
米 山 東 小	6 学 年	五 十 嵐 裕 子	教諭
南 方 小	社 会 科	後 藤 善 史	教頭
柳 津 小	教 務 主 任	菅 原 満 夫	教諭
新 田 中	社 会 科	箱 石 雄 悟	教諭
豊 里 中	社 会 科	中 津 川 英 樹	教諭

平成27年度

(順不同)

所 属	担任・担当	氏 名	
佐 沼 小	6 学 年	佐 々 木 理	教諭
錦 織 小	教 務 主 任	岩 淵 安 弘	教諭
加 賀 野 小	6 学 年	小 幡 秀 明	教諭
米 岡 小	6 学 年	佐 藤 智 之	教諭
石 越 小	6 学 年	門 田 洋 之	教諭
東 郷 小	6 学 年	金 野 ゆ か り	教諭
佐 沼 中	社 会 科	及 川 正 生	教諭
中 田 中	社 会 科	白 石 善 郎	教諭

平成 29 年 3 月

発行者 登米市租税教育推進協議会

租税教育用教材・資料・DVD 等に関するご意見、ご要望を下記までお寄せください。

佐沼税務署 総務課（事務局） (0220) 22-2501